

Job

Chapter 1

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

תָּם הַהוּא הָאִישׁ וַהֲיֵה שְׁמוֹ אִיּוֹב עוֹיֵן בְּאֶרֶץ-הֵיה אִישׁ 1
潔く その その-人は そして-いた 名の ヨブと-いう ウツ ウツの-地に いた 人が
H8535 H1931 H0376 H1961 H8034 H0347 H5780 H0776 H1961 H0376
מֵרַע: וְסָר וַיִּירָא וַיֵּשֶׁר
悪から 離れていた 神を 畏れる-者で 正しく
H5493 H0430 H3373 H3477

ウツの地にヨブという名の人があった。そのひとりとなりは全く、かつ正しく、神を恐れ、悪に遠ざかった。

וַיִּוְלְדוּ לוֹ שִׁבְעָה בָנִים וְשְׁלוֹשׁ בָּנוֹת:
娘が 三人の 息子と 七人の 彼に 生まれた
H1323 H7969 H7651 H3205

彼に男の子七人と女の子三人があり、

מֵאוֹת נַחֲמָשׁ וְנִמְלִים אֶלְפֵי וּשְׁלֹשֶׁת צֹאן אֶלְפֵי-שִׁבְעַת מִקְנֵהוּ וַיְהִי 3
百の 五 らくだと 頭の 三千の 羊と 頭の 七千の 彼の-家畜は そして-あった
H3967 H2568 H1581 H0505 H7969 H6629 H0505 H7651 H4735 H1961
הָאִישׁ וַיְהִי מְאֹד רַבָּה וַעֲבָדָהּ אֶתֹנּוֹת מֵאוֹת וַחֲמִשׁ בְּקָרָ וְצִמְדֵי-
その-人は そして-あった 多かった 非常に しもべが 雌ろほと 百の 五 牛と くびきの
H0376 H1961 H3966 H5657 H0860 H3967 H2568 H1241 H6776
הַהוּא גָּדוֹל מְכֹל-בְּנֵי-קָדְם:
その 偉大で すべての 人々の-中で 東の
H3605 H1931

その家畜は羊七千頭、らくだ三千頭、牛五百くびき、雌ろほ五百頭で、しもべも非常に多く、この人は東の人々のうちで最も大なる者であった。

וַיִּקְרָא וַיִּשְׁלַחוּ יוֹמוֹ אִישׁ בֵּית מִשְׁתֵּה וַעֲשׂוּ בָנוּ וַהֲלִכּוּ 4
招いた そして-遣わして その-日に 各自 家で 宴会を 設けた 彼の-息子たちは 行って
H7121 H7971 H3117 H0376 H4960 H1980
לְשִׁלְשֶׁת [אחיתיהם] (אחיותיהם) לְאֹכֵל וּלְשִׁתּוֹת עִמָּהֶם:
三人の 姉妹たちを 姉妹たちを 姉妹たちを 姉妹たちを 姉妹たちを 姉妹たちを 姉妹たちを
H8354 H0398 H0269 H0269 H7969

そのむすこたちは、めいめい自分の日に、自分の家でふるまいを設け、その三人の姉妹をも招いて一緒に食い飲みするのを常とした。

וַיִּקְדָּשׁ אִיּוֹב וַיִּשְׁלַח הַמַּזְשָׁה יָמָיו הַקִּיפּוֹ כִּי וַיְהִי 5
 彼らを-聖別した ヨブは 遣わして 宴会の 日々の 一-巡りすると 時に そして-なった
[H6942](#) [H0347](#) [H7971](#) [H4960](#) [H3117](#) [H1961](#)

אָמַר כִּי כָל־מִסְפָּר עֲלוֹתַי וְהֵעֵלָה בְּבֹקֶרְי וְהִשְׁכִּימ וְהִשְׁכִּימ
 言った なぜなら すべての-者の 数だけ 全焼の-捧げ物を 捧げた 朝に そして-早起きして
[H0559](#) [H3605](#) [H4557](#) [H5927](#) [H1242](#) [H7925](#)

בְּלִבָּבְךָ אֱלֹהִים וּבִרְכוּ בְנֵי חַטָּאוֹ אוֹלֵי אִיּוֹב
 心の中-で 神を 呪った-かもしれない 私の-息子たちが 罪を-犯して もしかすると ヨブは
[H3824](#) [H0430](#) [H1288](#) [H2398](#) [H0194](#) [H0347](#)

כַּכֵּה יַעֲשֶׂה אִיּוֹב כָּל־הַיָּמִים:
 一 日々を すべての ヨブは していた このように
[H3117](#) [H3605](#) [H0347](#) [H3602](#)

そのふるまいの日はひとめぐり終るごとに、ヨブは彼らを呼び寄せて聖別し、朝早く起きて、彼らすべての数にしたがって燔祭をささげた。これはヨブが「わたしのむすこたちは、ことによったら罪を犯し、その心に神をのろったかもしれない」と思ったからである。ヨブはいつも、このように行った。

וַיְהִי הַיּוֹם וַיָּבֹאוּ בְנֵי הָאֱלֹהִים לְהִתְיַצֵּב עַל־יְהוָה וַיָּבֹא הַשָּׁטָן גַּם־סָטָן
 サタンも また 来た 主の 御前に 立つために 子らが 神の 来た 日 ある
[H7854](#) [H1571](#) [H0935](#) [H3068](#) [H3320](#) [H0430](#) [H0935](#) [H3117](#) [H1961](#)

בְּתוֹכָם:
 その-中に
[H8432](#)

ある日、神の子たちが来て、主の前に立った。サタンも来てその中にいた。

וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־הַשָּׁטָן מֵאֵיזוֹ תָּבֹא הַשָּׁטָן וַיַּעַן וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶת־הַשָּׁטָן וַיֵּעַן
 言った 主に 一 サタンは 答えた 来たのか どこから サタン に 主が 言われた
[H0559](#) [H3068](#) [H0853](#) [H7854](#) [H0935](#) [H0370](#) [H7854](#) [H0413](#) [H3068](#) [H0559](#)

מִשׁוּט בְּאֶרֶץ וּמִהַתְהַלֵּךְ בָּהּ:
 そこを 巡り-歩くことから 地を 歩き-回ることから
[H1980](#) [H0776](#)

主は言われた、「あなたはどこから来たか」。サタンは主に答えて言った、「地を歩きめぐり、あちらこちら歩いてきました」。

וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־הַשָּׁטָן הֲשָׂמְתָּ לְבָבְךָ עַל־אִיּוֹב עֲבָדִי וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶת־הַשָּׁטָן וַיַּעַן
 言った 主に 主が 言われた 一 お前は 心に-留めたか サタン に 主が 言われた
[H0559](#) [H3068](#) [H0413](#) [H7854](#) [H0370](#) [H7854](#) [H0413](#) [H3068](#) [H0559](#)

אִין כְּמֹהוּ בְּאֶרֶץ אִישׁ תָּם וְיֹשֵׁר יִרְאֵ אֱלֹהִים וְסָר מִרָע:
 いない 彼のような-者は 地に 人で 潔く 正しく 恐れ 神を 離れている 悪から
[H0369](#) [H3644](#) [H0776](#) [H0376](#) [H8535](#) [H3477](#) [H3373](#) [H0430](#) [H5493](#)

主はサタンに言われた、「あなたはわたしのしもべヨブのように全く、かつ正しく、神を恐れ、悪に遠ざかる者の世にないことを気づいたか」。

וַיַּעַן הַשָּׁטָן אֶת־יְהוָה וַיֹּאמֶר הַחֲנָם לֵימֵךְ יִרְאֵ אִיּוֹב אֱלֹהִים:
 一 サタンは 答えた 主に 言った 理由-なく 言った 主に 一 サタンは 答えた
[H7854](#) [H853](#) [H3068](#) [H0559](#) [H2600](#) [H3372](#) [H0347](#) [H0430](#)

サタンは主に答えて言った、「ヨブはいたずらに神を恐れましょうか」。

10
 אֲשֶׁר-כָּל-וּבְעַד וּבְעַד-בְּעָרְוֹ שְׂכָתְךָ (אֲתָהּ) אֵתְךָ הֲלֹא- 10
 ものを すべての また 彼の-家を その-家を 彼を 守って あなたが あなたが ではないか
 H3605 H1157 H1157 H1157 H7753 H3808
 לוֹ מִסָּבִיב מַעֲשֵׂה יָדָיו בְּרָכָתְךָ וּמִקְנֵהוּ פָּרִיץ בְּאֶרֶץ:
 彼の 周りに 手の-業を 彼の 祝福し その-家畜は 増え広がっている 地に
 H0776 H6555 H4735 H1288 H3027 H4639 H5439

あなたは彼とその家およびすべての所有物のまわりにくまなく、まがきを設けられたではありませんか。あなたは彼の勤労を祝福されたので、その家畜は地にふえたのです。

11
 וְאוֹלָם שָׁלַח-נָא יָדְךָ וְנָע בְּכָל-אֲשֶׁר-לוֹ אִם-לֹא 11
 ない きっと 彼の ものを すべての 打ってください あなたの-手を どうか 伸ばして しかし
 H3808 H3605 H5060 H3027 H4994 H7971 H0199
 עַל-פְּנֵיךָ יְבָרְכֶךָ:
 あなたの-面に-向かって 顔 呪うでしょう
 H1288 H6440

しかし今あなたの手を伸べて、彼のすべての所有物を撃つてごらん下さい。彼は必ずあなたの顔に向かって、あなたをのろうでしょう」。

12
 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל-הַשָּׂטָן הִנֵּה כָּל-אֲשֶׁר-לוֹ בְּיָדְךָ נָק וַיֹּאמֶר 12
 言われた 主が に サタン 見よ すべての ものは 彼の 中にある お前の-手の- 御前 御前から 出て-行った お前の-手を 手を-伸ばすことを してはならない 彼には
 H7535 H3027 H3605 H2009 H7854 H0413 H3068 H0559 H6440 H7854 H3318 H3027 H7971 H0408 H0413
 יְהוָה:
 主の
 H3068

主はサタンに言われた、「見よ、彼のすべての所有物をあなたの手にまかせる。ただ彼の身に手をつけてはならない」。サタンは主の前から出て行った。

13
 וַיְהִי הַיּוֹם וּבְנֵי וּבְנֹתָיו אָכְלִים וְשָׂתִים יַיִן בְּבֵית אַחִיהֶם 13
 ある 日 彼の-息子たちと 娘たちが 食べて 飲んでいた ぶどう酒を 家で 彼らの-兄の
 H3117 H1961 H3196 H8354 H0398 H1323 H0251 H0860 H3196 H8354 H0398 H1323 H0251
 הַבְּכוֹר:
 長男の
 H1060

ある日ヨブのむすこ、娘たちが第一の兄の家で食事をし、酒を飲んでいたとき、

14
 וּמִלְאָךְ בָּא אֵל-אִיּוֹב וַיֹּאמֶר הַבְּקָר הֵנּוּ תְרִשּׁוֹת וְהָאֲתָנוֹת רְעוֹת 14
 使いが 来て 一 牛が 言った ヨブに 一 耕して そばが 草を-食べていた
 H0413 H0935 H4397 H0413 H0935 H4397 H1961 H1241 H0559 H0347 H0413 H0935 H4397
 עַל-יְדֵיהֶם:
 その-そばで そのそばで
 H3027

使者がヨブのもとに来て言った、「牛が耕し、そばがそのかたわらで草を食べていると、

15

וְאֵלֶּטָהּ									
逃れた	逃れた	刃で	剣の	打ち殺した	若者たちを	そして	奪い取った	シェバが	襲いかかり
H7535	H4422	H2719	H6310	H5221	H5288	H0853	H3947	H7614	H5307

וְאֵלֶּטָהּ
あなたに

וְאֵלֶּטָהּ
告げるために

וְאֵלֶּטָהּ
一人だけが

וְאֵלֶּטָהּ
私

[H5046](#)

[H0905](#)

[H0589](#)

シバびとが襲ってきて、これを奪い、つるぎをもってしもべたちを打ち殺しました。わたしはただひとりのがれて、あなたに告げるために来ました」。

16

וְאֵלֶּטָהּ									
降ってきた	降ってきた	神の	神の-火が	言った	来て	別の-者が	話している-と	この-者が	まだ
H5307	H5307	H0430	H0784	H0559	H0935	H2088	H1696	H2088	H5750

וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ						
一人だけが	私	ただ	逃れた	焼き尽くした	若者たちを	羊と	燃え上がった	天から	
H0905	H0589	H7535	H4422	H0398	H5288	H6629		H8064	

וְאֵלֶּטָהּ
あなたに

וְאֵלֶּטָהּ
告げるために

[H5046](#)

彼がなお語っているうちに、またひとりが来て言った、「神の火が天から下って、羊およびしもべたちを焼き滅ぼしました。わたしはただひとりのがれて、あなたに告げるために来ました」。

17

וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ
三つの	分かれて	カルデア人が	言った	来て	別の-者が	話している-と	この-者が	まだ	
H7969		H3778	H0559	H0935	H2088	H1696	H2088	H5750	

וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ						
刃で	剣の	打ち殺した	若者たちを	そして	奪い取った	らくだを	一	襲いかかり	隊に
H2719	H6310	H5221	H5288	H0853	H3947	H1581		H6584	

וְאֵלֶּטָהּ
あなたに

וְאֵלֶּטָהּ
告げるために

וְאֵלֶּטָהּ
一人だけが

וְאֵלֶּטָהּ
私

וְאֵלֶּטָהּ
ただ

וְאֵלֶּטָהּ
逃れた

[H5046](#)

[H0905](#)

[H0589](#)

[H7535](#)

[H4422](#)

彼がなお語っているうちに、またひとりが来て言った、「カルデアびとが三組に分れて来て、らくだを襲ってこれを奪い、つるぎをもってしもべたちを打ち殺しました。わたしはただひとりのがれて、あなたに告げるために来ました」。

18

וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ	וְאֵלֶּטָהּ
食べて	娘たちが	あなたの-息子たちと	言った	来て	別の-者が	話している-と	この-者が	まだ	
H0398	H1323		H0559	H0935	H2088	H1696	H2088	H5704	

וְאֵלֶּטָהּ
長男の

וְאֵלֶּטָהּ
彼らの-兄の

וְאֵלֶּטָהּ
家で

וְאֵלֶּטָהּ
ぶどう酒を

וְאֵלֶּטָהּ
飲んでいた

[H1060](#)

[H0251](#)

[H3196](#)

[H8354](#)

彼がなお語っているうちに、またひとりが来て言った、「あなたのむすこ、娘たちが第一の兄の家で食事をし、酒を飲んで」と、

19

הַבַּיִת	פְּנוֹת	בְּאַרְבַּע	וַיַּדֵּחַ	הַמִּדְבָּר	מֵעַבְרָה	וּבָאָה	גְּדוּלָּה	רֵיחַ	וַיַּהֲנֶה
家の	隅を	四つの	打って	荒野の	向こうから	来て	大きな	大きな-風が	すると-見よ
	H6438	H0702	H5060		H5676	H0935		H7307	H2009

לְהַגִּיד	לְבַדִּי	אֲנִי	רַק	וַאֲמַלְטָהּ	וַיָּמוּתוּ	הַנְּעָרִים	עַל-	וַיִּפֹּל
告げるために	一人だけが	私	ただ	逃れた	彼らは-死んだ	若者たちの-上に	—	倒れ
H5046	H0905	H0589	H7535	H4422	H4191	H5288		H5307

לְךָ:
あなたに

荒野の方から大風が吹いてきて、家の四すみを撃ったので、あの若い人たちの上につぶれ落ちて、皆死にました。わたしはただひとりのがれて、あなたに告げるために来ました」。

20

וַיִּפֹּל	רֹאשׁוֹ	אֶת-	וַיִּנּוּ	מְעֻלוֹ	אֶת-	וַיִּקְרַע	אִיּוֹב	וַיָּקָם
地に-ひれ伏して	頭を	—	そり落とした	上着を	—	引き裂いた	ヨブは	立ち上がり
H5307		H0853	H1494	H4598	H0853	H7167	H0347	

וַיִּשְׁתַּחוּ:
礼拝した
אֶרְצָה
地に
[H7812](#) [H0776](#)

このときヨブは起き上がり、上着を裂き、頭をそり、地に伏して拝し、

21

וַיַּהֲנֶה	נָתַן	יְהוָה	שָׁמָּה	אֲשׁוּב	וְעָרָם	אֲמִי	מִבֶּטֶן	(וַיֵּצְאֵתִי)	אֵינִי	עָרֹם	וַיֹּאמֶר
主が	与え	主が	そこに	帰ろう	裸で	胎から	母の	出てきた	出てきた	裸で	言った
H3068	H5414	H3068	H8033	H7725	H6174	H0517	H0990	H3318	H3318	H6174	H0559

מִבְּרֵךְ:
祝福-された
יְהוָה:
主の
שֵׁם
御名を
יְהִי
ほめたたえよ
לָקַח
取られた
[H1288](#) [H3068](#) [H8034](#) [H1961](#) [H3947](#)

そして言った、「わたしは裸で母の胎を出た。また裸でかしくこに帰ろう。主が与え、主が取られたのだ。主のみ名はほむべきかな」。

22

תְּפִלָּה	נָתַן	וְלֹא-	אִיּוֹב	חָטָא	לֹא-	זֵאת	בְּכָל-
愚かさを	帰することは	なかった	ヨブに	罪を-犯すことは	なかった	この-ことにおいて	すべての
H8604	H5414	H3808	H0347	H2398	H3808	H2063	H3605

פֶּ:
—
לְאֱלֹהִים:
神に
[H0430](#)

すべてこの事においてヨブは罪を犯さず、また神に向かって愚かなことを言わなかった。